

新型コロナウイルス感染症患者の発生について(県内2例目)

1 概要

3月12日(木)、新型コロナウイルス感染症疑い患者のPCR検査を実施したところ、陽性が判明しました。当該患者は1例目の濃厚接触者です。

2 患者情報

- ①年齢・性別：60代 女性
- ②居住地：群馬県太田市
- ③職業：パート従業員
- ④症状及び行動

3月7日(土) 県内1例目の濃厚接触者(同居家族・母)として健康観察を開始。

3月9日(月)までは体調に異常なし。やむを得ず買い物で市内に外出したが、マスクを着用。

3月10日(火) 体調に異常なし。外出なし。

3月11日(水) 発熱(38度)、倦怠感のため、保健所に相談。帰国者・接触者外来である医療機関Aを受診。レントゲン撮影の結果、肺炎像が認められたため、同院に入院、検体採取。

3月12日(木) 県衛生環境研究所の検査により陽性と判明。

- ・発症日(3月11日)以降は、医療機関A以外に外出していない。
- ・医療機関には自家用車で移動。医療機関Aを受診する際は、マスクを着用し、他の患者と接触しないように受診した。
- ・患者に基礎疾患はなく、容態は安定している。

※報道関係者の皆さまへ

診療の妨げとなるおそれがあるため、医療機関等への取材は十分に御配慮ください。

県民の皆様へ

●新型コロナウイルス感染症とは

- ・ウイルス性の風邪の一種です。発熱やのどの痛み、せきが長引くこと(1週間前後)が多く、強いだるさを訴える方が多いことが特徴です。
- ・潜伏期間は1日から12.5日(多くは5日から6日)とされています。
- ・感染経路は、咳やくしゃみを吸い込むことによる飛沫感染及び飛沫等が手指から体内に入り感染する接触感染です。
- ・高齢者や持病がある方が感染すると、重症化する可能性があります。

●帰国者・接触者相談センターのお知らせ

次の方は、保健福祉事務所(保健所)、県保健予防課に設置されている「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

- ・海外から帰国した後、発熱や呼吸器症状が出た場合
- ・風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている場合(高齢者や持病のある方は、2日程度続く場合)
- ・強いだるさや息苦しさがある場合

●予防対策は

- ・風邪やインフルエンザの予防と同様に、石けんによる手洗いや咳エチケットといった対策が重要です。
- ・発熱等の風邪の症状が見られるときは、外出を自粛し、学校や会社を休んでください。
- ・イベントを開催する場合には、開催の必要性について検討するとともに、風通しの悪い空間をなるべく作らない、手指消毒用アルコールを設置する、参加者に手指衛生を呼びかけるなど、感染防止対策を十分講じてください。また、多くの人が集まる施設でも同様の予防対策をお願いします。